

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.024

田中 康夫



たなかやすお ● '56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ
ログ】 www.nippon-dream.com/



YASSY

最悪な“辞めない宰相”のもとで 日本は開闢以来最悪の事態を迎える

今週の逸品



ホワイアスパラガスの網焼き・ トリュフの香りの温泉卵とペゴリーノで 2400円

南青山3丁目交差点からキラー通りを千駄ヶ谷のビクタースタジオ方向へ向かう途中に「ラ・パタータ」は存在。前菜も主菜も種類も分量は多目。モッツアレラを詰めた花ズッキーニのフリット (2200円) を始め

として季節を感じさせる前菜と種類が充実。4800円のコースはアラカルトの中から前菜・種類を選択し、食後も愉しめる。主菜の内か魚を加えた7800円のコースも含め、食後はワゴンの中から複数種選択可能。

【トラットリア ラ・パタータ】東京都渋谷区神宮前2-9-11 シオバラ外苑ビル1F
☎03-3403-9664 ①12:00~14:00 ②18:00~23:00 月曜定休・全面禁煙

illustration by Hajime Anzai



Orthodoxy II オートソドキシイが肝要です。何事に於いても。と冒頭で記すや、ナンジャラホイと困惑する向きが今回も現れるでしょう。端的に申し上げれば、正当性無き小手先の権謀術数は長続きしません。政治も料理も。即ち、不信任否決後に「良かった」と述べた宰相菅直人。実は不信任可決後に「菅抜き・小沢抜き」連立内閣を夢想していた口先番長前原誠司・原理番長岡田克也・弁解番長枝野幸男3氏に象徴される民主党「主流派」。更には「総辞職」

後の絵図を明確に提示し得ぬ儘に突入した自由民主党の面々。何れの「知恵」も正統・伝統・保守の氣概とは対極の浅知恵です。翻って鳩ちゃんは今回も狂言回し役を演じ、民主党分裂を阻止しました。而して亀ちゃんが宰相に鈴を付け、「消費増税&TPP推進」翼賛連立内閣樹立を防ぎ、結果としてオザワンをも救う「触媒」を担う結果となりました。不信任決議が否決された6月2日深夜、畏友・角谷浩一氏の進行で「東京新聞」の畏兄・長谷川幸

洋氏らと1時間半余に亘って出演した「ニコニコ生放送」の「タイムソフト」IIアーカイブを視聴したならば得心頂けるでしょう。一刻も早く視界から消えて欲しい、と願うのは簡単。が、その後の戦略も戦術も無き「二刀両断」は、フランス革命後のリパウンドと同じ悲惨な展開を生み出します。事実、可決したなら解散・総選挙と脅していた宰相の周囲で、赤い血ならぬ緑の血が流れるアンドロイドな面々は、前述の翼賛連立を望んでいたのですから。

土屋孝一氏が営む「トラットリア ラ・パタータ」とは三十有余年の付き合いです。極めてオートソドックスでありながら、クラシカルII古色蒼然とは対極の、進取の氣性に富む、それでいて人間の体温を有する料理と接客の時空です。故に栄枯盛衰の激しいイタリア料理業界に於いて、魅力を醸し続けているのです。

立法権と行政権を併せ戴く日本の宰相とは実は、米国の大統領よりも強大な権限を有します。本人が辞めない限り、鈴を付けるのは至難の業。他方で人事権も予算権も有する歴代の宰相は、その自覚即ち覚悟を持ち合わせていませんでした。故に、匿名性に護られた財務官僚が背後で跳梁跋扈の「首相機関説」だったのです。開闢以来の最悪の事態を、一向に辞めない最悪の宰相で日本は迎えます。ならば、辞めない宰相の下、真つ当な首相機関説を機能させるべく救国内閣を、復興実施本部を、と亀ちゃんは説いていたのです。6月2日午前10時半、「断腸の思い」で彼が進言した「退陣」に対し、裏切番長菅直人は糊塗に糊塗を重ねています。が、奥方伸子と共にニコライ&エレナ・チャウシエスクの道を急速に歩みつつあるのです。その触媒をも担った亀ちゃんは早晚、次なる「断腸の決断」を行うでしょう。極めてオートソドックスな決断を。